



1月 歩路だより



冬休みに入りましたが、ご家庭ではいかがお過ごしでしょうか。お正月行事は、家庭でなければできない経験がたくさんあります。初詣、カルタ取り、お年玉などお子さんにとっての楽しみがいっぱいです。

新しい年も皆様にとり良い一年になりますようお祈り申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

1がつのよてい

げつ	か	すい	もく	きん
				1 がんにじつ
4 かだいなそび	5 うんどうあそび	6 おんがくあそび	7 もちつきかい	8 せいさく
11 せいじんのひ	12 ひなくんれん	13 うんどうあそび	14 おえかき	15 たんじょうびかい
18 おえかき	19 かだいなそび	20 せいかつあそび	21 おんがくあそび	22 うんどうあそび
25 うんどうあそび	26 おえかき	27 かだいなそび	28 くらすこうりゅう	29 おんがくあそび

※活動内容は、諸事情により変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

《臨床発達心理士》松本先生：1月5日、8日、14日、15日、18日、20日、21日、25日、26日、28日、

《言語聴覚士(ST)》二宮先生：4日、12日、22日、27日

《理学療法士(PT)》福山先生：7日、13日、29日

おねがい

○お子さんの持ち物には、衣類・オムツ等も含めすべてに記名をお願いします。

名前のないものに関しては、こちらで記名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○書類や薬をお子さんの鞆の中に入れる際は、お手数ですが連絡帳にその旨の記載をお願いいたします。



職員通信 今月の担当は、玉利 真百見です。



早くも新年の松飾りがちらほらみられる今日この頃ですが、新年に向けての準備は進んでおりますでしょうか。幼稚園のお子様や、小学生のいるお子様は冬休みに入り、いつにも増して忙しくなりますね。

私にも小学生2人、中学生1人の子どもがおりますので、毎年この時期はバタバタと過ごす毎日です。

さて、年の暮ということですので、私の2015年を振り返ってみたいと思います。今年の春からこちらにお世話になっておりますが、紆余曲折しながらも最近歩路に通ってくる子どもたちの成長ぶりを間近で見られることに喜びを感じることに、また、子どもたちの色々な可能性を引き出すために私たちに何が出来るかを考えながら過ごしています。来年も、歩路の子どもたちと一緒に、切磋琢磨しながら、少しずつ前進していけたらいいなと思っています。

来年も皆様にとって良い年になりますように。よいお年をお迎えください。

専門職通信 今月の担当は、理学療法士 福山 章先生です



たかが「ぞうきんがけ」、されど「ぞうきんがけ」

運動遊びの課題の一つとして、「ぞうきんがけ」を取り入れていただいています。これは重力に対して身体を支える抗重力筋の働きやバランス(平衡感覚)の発達を促すことが主な目的です。

運動発達の過程で言うことが少ないままつかまり立ちや歩行を始めた場合、抗重力筋の弱さが目立つことがあります。この弱さは単に身体を支えることだけでなく、手足の不器用さや扁平足など身体のあらゆる部分に影響を与えます。また、椅子に座ることが長続きしないなどの行動面にもつながってくるため、集団生活への影響も少なくありません。

弱さの背景には、子どもさん本人の身体状況だけでなく、乳児期の環境要因として抱っこひもや歩行器、骨盤を固定するタイプのベビーチェアなどの使用状況が影響していることが指摘されています。使用者の手間を減らしたり、安全を確保するために工夫された道具が人の様々な能力を退化させる例は枚挙にいとまがありません。

「ぞうきんがけ」では四つ這いや高這いなどの姿勢運動を経験します。頭と体幹の位置関係の変化は内耳の三半器官を刺激し、目で見える景色の流れの認識と相まってバランス感覚の発達につながります。また、手で体重の一部を支えながらぞうきんと床面との摩擦をコントロールして目的の方向へ向かうことは、手足や体幹を協調して動かす器用さにもつながるとされます。

子どもさん一人一人の状況に応じて指導していますが、大人の私達にとってもよいトレーニングだなと感じる活動です。